

不正腐敗・不祥事続出、防衛省・自衛隊

海幕長更迭等 218人処分

防衛省は12日、「特定秘密」の漏洩や海上自衛隊潜水士の手当不正受給、潜水艦修理に関して受注した川崎重工が海自隊員に対し、合計十数億円とみられる接待や金品を提供していた疑惑、防衛省幹部によるパワハラなどで218名を処分し、組織ぐるみで墮落している事が明らかにになりました。

ア軍などとも可能と。

自衛隊の任務は急拡大で演習も手が廻らず「見張り不十分」、「指揮・連携不足」で先のヘリ衝突事故を招いたとの指摘があり、隊員の疲弊の影響も有りと。

また、4月の日米首脳会谈で自衛隊と在日米軍の指揮・統制一体化合意など政

治主導で進む動きに、防衛省幹部は「本当に互恵的な関係を築けるのか？」

そうでなければ、「米軍の下請けに過ぎなくなる」と懸念を示しています。

こんな実態で、防衛省・自衛隊に43兆円もの税金を使う事など許せません。

防衛省・自衛隊組織の解体的出直しと、軍事費の大幅削減・減額が必要です。

(浜田見 大田勉)

健康情報

暑さ乗り切るため、免疫力を低下させない食事を書いてみました。

小さな良い習慣を少しずつ続けていくことが大切と言われています。

腸内細菌の良い環境が重要で、タンパク質に加えキノコ類・野菜類、それに加えアントシアニンの食品(ブルーベリー・ハックルベリーなど)に含まれる抗酸化作用が重要です。

サプリ商品も宣伝されていますが、歯が問題なければ食品で摂って頂くことが良いと思います。

(鮭・人参・ブロッコリー・トマト・カボチャ等)を食べて夏を乗り切りましょう。

(3丁目 薄井百子)



読者のコーナー

定額減税4万円の混乱

岸田政権は年間で所得税3万円、住民税1万円の減税を打ち出しました。

これが減税条件が複雑で分かりにくい、加えて給与明細に減税額を明記するよう義務化されました。

年末にまとめて減税額分を記載しようとしていたのに新たな仕組みを整える作業負担が増加。これは自治体も同様。

林芳正官房長官は「明記されなかった場合は労基法に違反」とまで言い出す。法に抵触？官房長官様、そういう事は長年脱法行為を繰り返している裏金議員に言つてやってください。

(吾妻町 西田良平)

文芸欄 今月は俳句です

息づくこと光る螢や小糠雨
日盛りの猫の眉間の深き皺
梅雨晴れ間プールに響くはしやぎ声

幸代
美ちこ



「核兵器禁止条約に参加」を求め

683地方議会が意見書提出

核兵器禁止条約が2017年7月7日に国連会議で採択されてから7年を迎えました。

2021年1月22日には同条約が発効し、実効力と規範力を高めるなか、唯一の戦争被爆国である日本は米国の「核の傘」のもとで署名も批准もしていません。

日本政府に同条約への参加を求める地方議会の意見書(趣旨採択を含む)が683に達し、全1788議会の38%を超えたことが、原水爆禁止日本協議会(日本原水協)の調べで7月7日までにわかりました。

岩手県は県議会と全33市町村議会で可決。県・市町村議会を合わせて7割を超えたのは秋田、新潟、長野、鳥取、岡山、広

町の問題・できごと

町は「町民ミーティング」の開催を決め、参加者を募っています。最初のテーマは「池田町の人口減少、少子高齢化をどう考えるか」で4回開催することです。(この原稿を書いている段階で1回目は終わりました)

町は「全国的に少子高齢化が進むなか、池田町でも人口減少が顕著となっています。今後の池田町はどのようなようになっていくのでしょうか?またどのようなしていきたいかなければいけないのでしょうか。皆さんで考えませんか?」と呼びかけています。

これは町が抱える大きな問題

爆国としての責務です。

日本政府は、核廃絶を目指すと言う一方で、米国の核の力への依存を強めています。

今後、核兵器保有国と非保有国との真の橋渡し役として、核兵器廃絶の議論に参加すべきです。

少なくとも第一回締約国会議にオブザーバーとして参加し、唯一の戦争被爆国としての役割を積極的に発揮するよう求めます。

で、様々な意見が出されたと思います。

私たち高齢者の中では「免許返納後の交通手段」「土地や建物を手放す場合の手続き」「病気の時の入院や施設入所手続き」「買物の援助」など、困っていることがたくさん話題になります。

子育て世帯でもどこに相談したら良いか悩んでいることが多くあると思います。

「町民ミーティング」をきっかけに困ったことがあったら行政の窓口気軽に相談できる体制づくりも強化してほしいと思います。

(3丁目 山本久子)

コラム 有明

正直者がバカを見る、こんなことがまかり通っている。世の中をよくするために頑張っている人や

党が、どうして疎んじられるのか?私にはどうしても理解しがたい▼老人になっても血の気が多く、世の中を見ていると頭にくることばかり。裏金問題や、沖縄の米軍の性犯罪問題など怒り心頭です▼東京都知事選の事でも少々怒り。結果は3位、予想外▼問題はそれと。立憲民主、共産、社民の各党が支援して、政策もしっかり訴えていました▼当選すれば野党共闘が効を奏したと喜びの声聞こえるのに、落選したら他の野党との連携を見直す必要があると党内論▼特に共産党との連携が「共産立憲と見られ」無党派層を遠ざけたという▼よくもそんなことが言えたものだ。どうして共産党?と言いたい▼今回の選挙戦で蓮舫側は従来の運動方式が主流だったのそのやり方はもう流行らないとの評▼兎に角現職小池さんの批判票の受け皿になり得なかったことは事実です▼共産党のせいでも人のせいにするのは楽ですよ

